

会 議 記 録

高松市附属機関等の設置、運営等に関する要綱第7条第4項の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	平成29年度第1回高松市子ども・子育て支援会議 保育所・幼稚園等部会
開 催 日 時	平成29年9月26日（火） 11時～11時45分
開 催 場 所	高松市役所11階114会議室
議 題	1 幼保連携型認定こども園の認可について 2 平成30年度の特定教育・保育施設等の利用定員について
公 開 ・ 非 公 開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
非 公 開 の 理 由	—
出 席 委 員	6人
	加野会長、鬼松委員、永澤委員、三木委員、峯委員、山田委員
傍 聴 者	11人
担 当 課 及 び 連 絡 先	こども園総務課 (839-2359)

会議の経過及び結果
<p>開 会</p> <p>部会長に加野委員が互選により選任、職務代理者として峯委員の指名があった。</p> <p>1 幼保連携型認定こども園の認可について</p> <p>2 平成30年度の特定教育・保育施設等の利用定員について</p> <p>事務局から、議題（1）、（2）についての概要説明を行った。</p> <p>【主な質疑応答】</p> <p>委員）今回の認可に当たり、相当数の保育士が必要であるが、どのように考えているか。</p> <p>事務局）平成30年4月に開設予定の施設に保育士確保状況について確認したところ、法人内異動も含めて、必要な人数分は確保できる見込みであるとのことであった。市としても、計画どおり確保ができているか、適時、施設に状況を確認し、指導・助言を行っていくこととしている。</p> <p>部会長）保育士確保については、各施設だけでなく、行政の力も必要となるため、引き続き取り組まれない。</p> <p>委員）地区別需給バランスでは、西部南地区において、保育の受け皿不足が顕著である。小学校入学直後の学校生活に馴染めない、いわゆる小1プロブレムが全国的</p>

に問題となっているが、クラスの中に1人でも多くの顔なじみがいることが、安定した小学校生活のスタートにつながる。この点も踏まえて、今後、西部南地区の対応について検討いただきたい。

事務局) 今回、西部南地区についても、小規模保育事業の募集対象地区としていたが、結果として応募がなかったものである。今年度見直す量の見込みの数値や、来年度の待機児童の状況等を勘案し、必要に応じて、更なる受入れ枠の拡大も検討したい。

部会長) 議題(1)の「幼保連携型認定こども園の認可」について、議題(2)の「平成30年度の特設教育・保育施設等の利用定員」について、部会としては、認可、了承することに問題なしとしたい。

閉 会